５　就学前教育

２０２６年度（令和８年度）主要施策

《心豊かにたくましく生きる力を育てる教育・保育の推進》

１　学びの芽生えを育む遊びの充実

（１）教育・保育内容の充実

「福山市教育・保育カリキュラム」を基に実践し、こども主体の学びや育ちを保障し、保育の専門性を高めるための研修を行う。

カリキュラムの実践にあたっては、広島県教育委員会の「『遊び　学び　育つひろしまっ子！』推進プラン～広島県の全ての乳幼児の健やかな成長のために～」とのつながりをもたせた取組としていく。

（２）就学前施設と小学校の連携

2022 年（令和 4 年度）から就学前教育と小学校教育の連携・接続の仕組みを新たに構築し、小学校区を基本とした連携協議会を中心に「一人一人のこどもの育ちと学びをつなぐ」取組を始めた。

また、パイロット校区を指定し、就学前教育と学校教育との連携・接続を発展させ、学びの連続性を確保するカリキュラムをモデル的に開発実践し、その過程や成果を全市に発信している。

・2023 年度（令和 5 年度）～2 年間
　加茂小・中学校（広瀬学園小学校、白ゆり幼稚園、ひまわり保育園、広瀬保育所、
　かも・なかよしこども園）
・2024 年度（令和 6 年度）
　光・霞小学校区、緑丘小学校区、加茂小・中学校区を継続して指定
・2025 年度（令和 7 年度）
　霞小学校区、緑丘小学校区、加茂小中学校区、千田小学校区
・2026 年度（令和 8 年度）
　泉小学校区・千田小学校区・緑丘小学校区

（３）年齢や興味に合った絵本環境の整備

こどもの年齢や興味に合った絵本や絵本コーナーの好事例を取組の参考となるように発信するとともに、在園（所）の園児だけでなく、未就園（所）児と保護者が利用できる仕組みを広げていく。

（４）職員の資質向上

主体的教育の実践と、配慮の必要な児童もともに育ちあえる保育の実践につながるよう、こどもの見取りやかかわり、こどもたちを取り巻く環境に関する研究により、職員の資質向上を図る。